

2018年12月23日

第6回 ACP ファシリテーター養成研修

【修了者】

大府東浦近郊

- 1) 米本可奈 (2回目のご参加)
住宅型有料老人ホーム 介護福祉士
- 2) 内田恵美
訪問看護ステーションソレイユ 看護師
- 3) 熊谷貴子
住宅型有料老人ホームすみれの丘 看護師

知多+

- 4) 加藤美子
アサヒサンクリーン在宅介護センター東海 介護支援専門員
- 5) 石川りえ (2回目のご参加)
南知多町社会福祉協議会 介護支援専門員
- 6) 山田博美
半田市立半田病院 看護師

豊明

- 7) 中村智栄
支援センターミナミ 介護支援専門員

名古屋

- 8) 岩橋 美智代
一般社団法人ハッピーネット 介護福祉士
- 9) 中村ひろみ
名古屋市医師会 看護師

岡崎

- 10) 田中美穂
訪問看護ステーション 仁 岡崎 看護師

県外

- 11) 五十嵐雅哉
SSK 茶屋町クリニック (岡山) 医師
- 12) 野村浩史
NPO 法人日本ICDの会 (京都) 対人援助職
- 13) 三浦稚郁子

地域医療振興協会医療事業本部（東京） 看護師

14) 水上幸子

地域包括ケアセンターいぶき(滋賀) 看護師

15) 新川康子

ケアセンターいぶき介護老人保健施設（滋賀） 看護師

16) 床井紀子

居宅介護支援事業所 フィオーレくまの浜 あかり（神奈川） 介護支援専門員

17) 松井幸子

心臓血管センター金沢循環器病院（金沢） 看護師

18) 増由紀子

心臓血管センター金沢循環器病院（金沢） 看護師

【ファシリテーター】

1) 大城京子

居宅介護事業支援所レモンの樹大府 介護支援専門員

2) 斎藤多恵

刈谷総合分院 看護介護

3) 花岡雅子

北信総合病院 JA長野厚生連（長野） 看護師

4) 北川渡

医療法人 北国会 北川内科 医師

5) 西川満則

国立長寿医療研究センター 緩和ケア診療部 医師

【参加者意見】

・ロールプレイやワークでしめされてくる課題を、まずはそのままやってみる、ということが意外と難しいのかもしれないと感じました。特にロールプレイは、真剣に、ある程度忠実にやって実感してみるところに意味があるように思いますが、役作りをしているうちに、お互いにポイントや到達点がぶれる感じがありました。

・コミュニケーションは、何度もワークや実践をおこなうことで、習得していくものと痛感いたしました。

・多職種での合意形成をする時、ファシリテートするということでは、大きな三角にしていくことが重要ですが、これまでの事例等を用いてお話ができればよかったですと感じました。再受講していきたいと考えております。

・研修は、正直疲れました。ロールプレイは今までに接した患者さんを思い浮かべながら行ったりしました。でも相手の方の反応で想像と違うことになったりして、戸惑

うことが多かったです。まだうまく使える自信がないです。

- ・ロールプレイに慣れてなくて、役になり切れず…利用者さんの事を思い出しながらやっていました。

- ・本人にとっての最善を検討するための7つの確認項目が頭に入っていなかったので、ロールプレイ中に、スライドで掲示してもらったほうがよいかもしれません。次回の開催が予定ありましたら、スタッフに声かけたいと思います。

- ・在宅支援を行うケアマネージャーとして、入院されて直ぐに問われる延命治療への意向確認、意志疎通ができなくなった本人に代わり、最期の医療選択を行わなければならない家族、最良の決断をされたと思っていても後悔の念を持たれるご家族、どう支えていいのか戸惑っていました。アドバンス・ケア・プランニングが必要と判っていても、死に対する恐ろしさ故に最後の時を考えることを避けがちの方々に、どのように切り出してよいものかと思っていました。本日のACPファシリテーター講座は実践的なワークの繰り返しで、在宅支援の現場からACPの実践していくハードルが低くなったように感じました。

- ・厳しい選択を迫られる場面での、自身のあり方については、様々な条件下で、満点とははならずとも、当事者や家族が納得できるように進めていくことを、諦めてはいけなないと、改めて思いました。術を知らない支援者がたくさんいて、悩みながら支援にあたっているのも、メソッドがあるということは、支援者の支えにもなると思います。

- ・ACPの勉強をするなかでいろいろな講義をうけ重要性の理解は必要だと思いますが、現場で必要となってくるのは、理解とともにコミュニケーションスキルだと思います。今回のロールプレイは、基礎でありながらも、質を考えながら患者、多職種に対応していると感じました。また、アンテナをはりキャッチするということを学ぶには、やはりこういう基礎の繰り返しが大切なのかなとも思いました。

- ・自分の中で消化不良を感じる部分がありましたが、以前参加された方の感想を読ませていただいたら同じような感想を書かれている方がみえ、少し安心しました。今はもう一度受け自分の中に落とし込めたらいいなと思っております。

- ・代弁者について学んだ時、家族が、私に、生きているだけでいいからと、長生きを望めば管を何本つけてもらってもいいと思ったし、私の介護は嫌だと思ったら何もしなくてもいい、そう思った。

- ・沈黙をしっかり見守れる様に、患者さんに寄り添って行きたいと思います。その方の物語を語って頂ける存在になれるよう、当院のスタッフと一緒に頑張っていきます。